

甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、同じ地域に生活する児童・生徒に対する系統的な教育の在り方を考える。

I 主題設定の理由

「地域の子どもは、地域で教育する」という基本理念のもと、同地域の子どもの育成に携わる教職員が、地域との連携の強化を図りながら、児童生徒の実態について深く理解し、小中の系統的な教育の在り方を研究するために、本主題を設定した。また、今年度も昨年度と同様に、甲州市の「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、研修を深めていきたいと考えた。

II 研究の内容

1 第1回ブロック研究会

(1) 日時 8月5日(金) 13:30～

(2) 目的 地域の人材や施設、史跡を生かした臨地研修を実施し、小中教職員が連携しながら、地域に生きる子どもの教育に活用する。

(3) 内容・コース

ア 寺町見学コース

・等々力地区の諏訪神社から寺町を散策・見学する。

イ 釈迦堂遺跡とフジッコワイナリー見学コース

・釈迦堂遺跡の見学

・フジッコワイナリーの見学と説明

ウ 古宮神社と大滝不動尊奥不動見学コース

・古宮神社の参拝とワインの歴史についての説明

・大滝不動尊奥不動の散策と見学

エ 休息山立正寺見学と葡萄工房ワイングラス館コース

・休息山立正寺の見学と講話

・「葡萄工房ワイングラス館」でのワイングラスの加工体験

2 第2回ブロック研究会

(1) 日時 11月16日(水) 14:00～

(2) 目的 中学校の道徳の授業を参観し、情報交換及び交流会を通して小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。

(3) 内容 中学校の授業参観

ア 授業提供 勝沼中学校 全学級

イ 分科会

「1学年分科会」

「2学年分科会」

「3学年分科会」

- ・各校の校内研究，学力向上の取り組みについて
- ・中学校の様子
- ・中学校の授業を参加した感想（小学校の先生方から）
- ・小学校の子どもたちの様子（学習面・生活面等）
- ・小中連携に関して（必要なこと，お互いへの要望）

3 第3回ブロック研究会

(1) 日時 1月18日（水）14：00～

(2) 目的 小学校の道徳の授業を参観し，情報交換及び交流会を通して小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。

(3) 内容 小学校の授業参観

ア 授業提供 勝沼小学校 全学級

イ 分科会

「低学年分科会」

「中学年分科会」

「高学年分科会」

- ・本時の授業について
- ・各校の児童生徒の様子
- ・小中連携や進学等に関して（質問，お互いへの要望等）

III 成果と課題

1 成果

- ・第1回の臨地研修では，各小学校区にある歴史的な文化財や産業などについて，講師の方々に分かりやすく詳しい説明をいただきながら自分の足で歩いたり体験したりして，貴重な経験ができた。
- ・第2回の勝沼中学校の授業公開では，全学級で道徳の授業を公開し，中学生が真剣に学習に臨む姿が見られた。発達段階や生徒の実態を踏まえた工夫を取り入れた授業を参観し，とても参考になった。また，その後の分科会では，各校の校内研究の取り組みや児童生徒の実態，また授業内容について情報や意見を交換することで他校の様子が分かり，連携を深めることができた。
- ・第3回目の勝沼小学校の授業公開では，中学校と同じく全学級で道徳の授業を公開した。自分の経験と重ねて考えさせたり，話し合い活動やワークシートを効果的に取り入れたりした授業づくりが，教科化に向けて参考になった。

2 課題

- ・臨地研修には，できるだけ地域に根ざし，且つ天候に左右されない場所を選定しておくが良い。
- ・授業参観後の分科会については，話し合う内容について要点を絞り，より有意義なものになるよう検討していく。

（ブロック長 金井京子）